

氏名	森正樹	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	臨床発達心理学・特別支援教育・学校コンサルテーション				
学位	修士(教育学)				
学歴	1991年東京学芸大学特殊教育学科 2003年 東京学芸大学大学院修士課程教育学研究科修了				
経歴	社会福祉法人 昴 こども発達センターハローキッズ地域サービス課長、宝仙学園短期大学保育学科非常勤講師、埼玉純真女子短期大学こども学科助教授、埼玉県立大学保健医療福祉学部非常勤講師を経て現				
所属学会(役職)	日本発達心理学会・日本発達心理学会「発達障害」分科会・日本発達障害学会・日本特殊教育学会・埼玉県立大学保健医療福祉科学学会・日本臨床発達心理士会(「臨床発達心理実践研究」常任編集委員)				

【2015年度実績】

1. 研究業績

	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	特別な教育的支援を必要とする子ども達の学びと育ちを支える授業実践—小中学校の授業に見るポイント52—	単著	埼玉県立大学 森正樹 全42頁	森正樹	2016年1月
(2) 論文					
1	小中学校における特別な教育的ニーズを有する児童生徒への支援の実態と類型—特別支援教育巡回相談における授業観察記録に基づく検討	単著	日本臨床発達心理士会 臨床発達心理実践研究 第10巻 95頁—103頁	森正樹	2015年7月
2	発達障害のある子どもとその家族のためのクリニカルアート教室の効果	共著	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 保健医療福祉科学第5巻11頁—17頁	小坂恵美 ○森正樹 酒井道久	2016年3月
(3) 学会発表					
1	該当なし				
(4) その他					
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本学術振興会科学研究費助成事業研究(基盤研究C)	[課題番号25381316]保育・教育現場の支援機能を開発するコンサルテーション技法に関する実践的研究 研究代表者 森正樹	平成25年～27年度

3. 教育業績

	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	発達障害論	平成27年度 前期	発達障害の特性と支援の方法に関して、講義用資料や仮想事例を作成した。これを基に学生が事例検討を通じて学ぶ実践的授業を行った。
2	教育心理学	平成27年度 前期	学習・認知・動機付け・社会性等の理論を解説し、これらを学生が、現在の教育現場の実態に関連付けて考えるグループワークを行った。
3	人間発達学①	平成27年度 前期	生涯発達の過程を解説した。学生の子供時代の写真や体験談等を授業に活用し、身近な事柄として発達を考える機会を提供した。
4	人間発達学②	平成28年度 前期	生涯発達の過程を解説した。学生の子供時代の写真や体験談等を授業に活用し、身近な事柄として発達を考える機会を提供した。
5	教育相談	平成27年度 後期	いじめ・不登校・発達障害等、学生が現在の教育現場の実態に即して学ぶ機会を提供した。仮想事例の事例検討など実践的内容を採り入れた。
6	障害児保育	平成27年度 後期	障害のある子ども達と家族の理解と支援について講義に併せ、事例検討、疑似体験、ロールプレイを通じた実践的な学習の機会を提供した。
7	家族相談援助法	平成27年度 後期	家族理解とそのエンパワメントをはかる相談技法に関し、独自に作成した仮想事例やワークシート、映像教材等を活用して、実践的授業を進めた。
8	コンサルテーション論(大学院)	平成27年度 後期	コンサルテーションの理論的背景について解説した。自身の著作や諸研究を題材に、学生が主体的にディスカッションする実践的授業を進めた。

(2) 演習				
1	カウンセリング技法③	平成27年度 後期	紙上訓練・模擬面接・グループワーク・ロールプレイ等で、対人援助に不可欠なコミュニケーション技術を、学生が体験的に学ぶ機会を提供した。	
2	カウンセリング技法⑥	平成27年度 後期	紙上訓練・模擬面接・グループワーク・ロールプレイ等で、対人援助に不可欠なコミュニケーション技術を、学生が体験的に学ぶ機会を提供した。	
3	学校ボランティア演習	平成27年度 通年	教職志望学生の教育現場での体験的学習のガイダンスを行った。併せて、学生が自身の体験を言語化し省察する際のアドバイスをを行った。	
(3) 実習				
2	ヒューマンケア体験実習	平成27年度 後期	福祉施設での体験的学習のガイダンスを行った。併せて、学生が自身の体験を言語化し省察し、共有する際のアドバイスをを行った。	
(4) 論文指導				
1	卒業研究	平成27年度 通年	指導学生 3名	
4	修士論文	平成27年度 通年	副査 1名	
(5) その他				
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
2	埼玉県内特別支援学校特別支援教育コーディネーター専門性向上研修	埼玉大学教育学部	学校コンサルテーションの基礎知識	2015年5月16日
3	埼玉県内特別支援学校特別支援教育コーディネーター専門性向上研修	埼玉大学教育学部	地域の力を高めるセンター的機能のあり方	2015年7月25日
4	さいたま市特別支援学校担当者研修会	さいたま市立ひまわり特別支援学校	学校コンサルテーションが果たす役割とその方法について～小・中学校への支援の在り方～	2015年7月28日
5	埼玉県立大学教員免許更新講習	埼玉県立大学地域産学連携センター	特別支援教育における発達理解と支援の進め方	2015年8月3日
6	埼玉県立行田特別支援学校公開講座	埼玉県立行田特別支援学校	子どもの課題に保護者とともに向き合える教師になるために	2015年8月6日
7	埼玉大学教員免許更新講習	埼玉大学教員免許センター	発達の気になる子どもの理解と支援	2015年8月20日
9	未来サポート研修会	埼玉県立大学地域産学連携センター・株式会社未来サポート	知的障害の基礎知識・発達障害の基礎知識	2015年9月1日・15日
11	埼玉県児童福祉司任用資格認定講習会	埼玉県福祉部こども安全課	障害者福祉論	2015年10月6日
12	埼玉県立伊奈学園総合高等学校 特別支援教育研修会	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	高等学校における理解と支援～保護者との信頼関係構築のための心構え～	2015年12月9日
14	埼玉県内特別支援学校特別支援教育コーディネーター専門性向上研修	埼玉大学教育学部	学校と地域の支援機能を開発するコンサルテーションの方略	2015年5月16日
15	春日部市教育委員会特別支援教育研修会	春日部市教育委員会	特別な教育的ニーズのある子ども達へのユニバーサルデザインの視点を活かした教育実践	2016年 1月28日
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県教育委員会	埼玉県特別支援教育推進委員会副委員長	現在に至る	
2	越谷市教育委員会	特別支援教育に関する専門的助言	現在に至る	
3	三芳町教育委員会	特別支援教育に関する専門的助言	現在に至る	
4	鴻巣市教育委員会	特別支援教育に関する専門的助言	現在に至る	
5	狭山市教育委員会	特別支援教育に関する専門的助言	現在に至る	
6	文京区教育委員会	特別支援教育に関する専門的助言	現在に至る	
7	川越市こども未来部	障害児保育に関する専門的助言	現在に至る	
8	志木市子育て支援課	障害児保育に関する専門的助言	現在に至る	
9	埼玉県立越谷西特別支援学校	シラコバト地域連絡協議会委員	現在に至る	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			

5. 学内運営(委員会委員)			
1	教職関連科目担当者会会長		
2	教員人事委員会における資格審査委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	チャイルドユースサポート章(内閣府)	内閣府	平成28年3月
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		